

環境調査結果のお知らせ

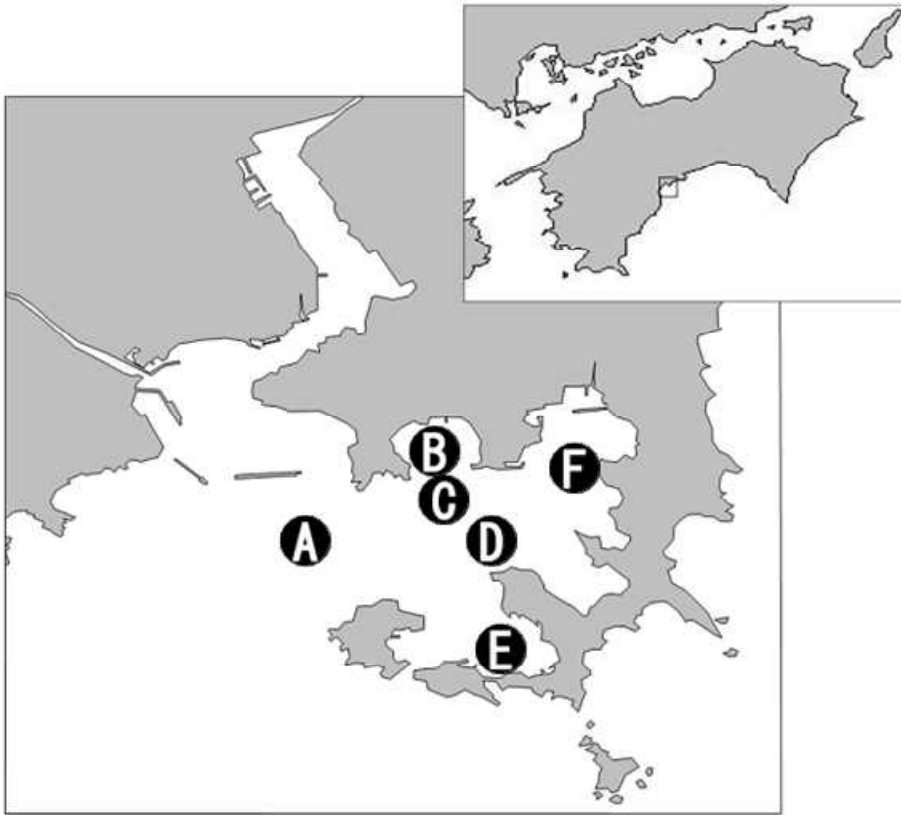
令和6年7月5日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1 cell/mL確認されました。

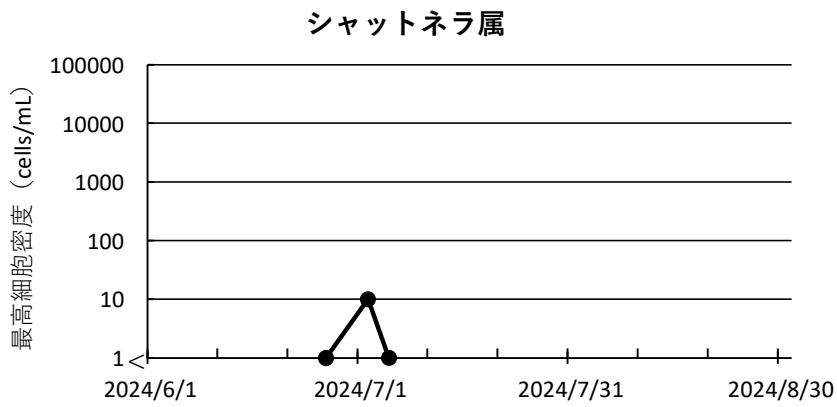
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A ガラク (5.5m) 【10:36】	0	26.3	29.2	7.9	0	440
	2	26.1	29.5	7.8	0	1,050
	5	25.2	30.8	7.8	0	700
	10	24.0	32.8	7.4	0	760
	底層 14	23.0	33.6	7.0	-	-
B 勢井 (5m) 【10:46】	0	26.7	29.0	7.6	0	1,100
	2	26.1	29.4	7.8	0	820
	5	25.7	30.0	7.8	0	900
	10	23.9	32.8	7.2	0	340
	底層 17.5	22.6	33.9	6.8	-	-
C 馬の背 (5.2m) 【10:57】	0	27.0	29.0	7.8	0	700
	2	26.2	29.2	7.9	0	680
	5	25.4	30.4	7.8	0	260
	10	24.1	32.5	7.2	0	300
	底層 21.5	22.2	34.0	6.7	-	-
D 大室戸 (5.5m) 【10:17】	0	26.9	28.8	7.7	0	1,100
	2	26.1	29.3	7.8	1	780
	5	25.6	30.1	7.6	1	480
	10	24.4	32.1	7.4	0	800
	底層 18	22.5	33.9	6.7	-	-
E 白浜 (4.8m) 【10:27】	0	26.8	27.5	8.0	0	800
	2	26.1	29.6	7.6	0	1,500
	5	25.5	30.4	7.8	0	820
	10	24.5	32.1	7.6	0	370
	底層 16.5	22.8	33.8	6.8	-	-
F 湾奥ブイ (5.2m) 【10:09】	0	27.3	29.0	7.7	0	1,300
	2	26.2	29.2	8.0	0	620
	5	25.7	30.0	8.0	0	800
	10	24.8	31.7	7.6	0	1,000
	底層 15.5	22.8	33.9	6.7	-	-



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 湾奥ブイ

令和6年度 野見湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。